

- 中小企業の存続には、デジタル技術を活用した生産性の向上や新たな価値の創出が必要
- 専門家による集中的な伴走型支援を実施し、その成果を先駆的事例として市内中小企業等にシェアすることで、DXに向けた取組の推進を図る

現状・課題

- ICTやAIなどのデジタル技術が社会構造を大きく変化させていくなか、経済産業省主導のもと、「DX推進指標」が策定されるなど、中小企業の存続には、デジタル技術を活用した生産性の向上や新たな価値の創出が必要とされている。
- 本市においても中小企業のDX化を促進し、中小企業の生産性の向上や新たな価値の創出に取り組む必要がある。

事業概要

○事業費:32,000千円

○事業内容

(1)中小企業等DXアクセラレーション事業【32,000千円】

自社の経営課題等について、デジタル技術を活用し、業務変革等に取り組む中小企業等に対し、セミナーやワークショップの開催、及び専門コンサルタントによるメンタリングや、社内におけるDX推進の担い手となる人材育成に係る研修等の伴走型支援を実施する。

また、伴走型支援による取組成果報告会等を通じ、市内中小企業に対してDX化の取組の波及を図る。

《事業詳細》

・DX啓発セミナーの開催

DXに関する基礎知識の習得や本プログラム内容の説明に関するセミナーを開催し、市内中小企業のDXに関する基礎理解を深める。

・DXテーマ策定ワークショップの開催

自社課題の検討や深堀り、今後取り組むDXテーマの策定に関するワークショップを開催する。

・専門家による伴走型支援の実施

各社のデジタル化、DX化の段階に応じた集中的な伴走型支援を実施する。

【実施内容】

- ・デジタル化導入支援
 - ・課題整理及び分析
 - ・対応策に関する助言、指導
 - ・DX推進計画の策定支援
 - ・社内におけるDX人材育成 等
 - ・成果報告会の開催
- 各社のDX推進計画を市内中小企業に向けて共有する。

DX啓発セミナー

ワークショップ

専門家による伴走支援

成果報告会・市HPでの共有